町　名	R２年10月		R３年10月		増　減	
	世帯数	人　数	世帯数	人　数	世帯数	人　数
河原子	924	1,900	914	1,839	−10	−61
東多賀	1,529	3,096	1,495	3,039	−34	−57
学区計	2,453	4,996	2,409	4,878	−44	−118

河原子

発行責任者
河原子学区コミュニティ推進会
会長　鈴木東男
事務局　日立市東多賀町3-7-5
☎　３３－３７４６
http://www.c-kawara.com
（ホームページ）

日立市コミュニティ２３学区初！！
リモートによる防災講演会

10月24日（日）、「震災から学ぶこと」と題し、いわき市在住で語り部をされている佐藤トミ子氏を招き、「令和３年度防災講演会」が開催されました。

コロナ禍による人数制限の開催でしたが、63名の方に参加をいただき、メイン会場のホールとサブ会場の和室をＺＯＯＭで繋ぎ、23学区では初めてとなるリモートによる講演会となりました。

このたびの講演会をとおして、東日本大震災時にいわき市久ノ浜の住民と避難生活を共にされた貴重な経験談を、災害発生時の避難所運営に生かしていきたいと感じました。

ホールにて語り部
佐藤トミ子氏

和室をZoomで繋いで

防災士からのワンポイント・アドバイス

災害時の心得

①自助、共助、公助を基本理念とする。（自分の命は自分で守る）
②津波てんでんこ、*いざという時のために普段から向こう三軒両隣り遠くの親戚より近くの他人と交流を密にしておく。
③３日間（72時間）生き延びるための水、食料、防災用品と日常品の日々確認しておく。
④避難場所とたどり着く迄の時間と経路を普段から確認しておく。

＊てんでんこ：「自分の命は自分で守る」ことだけでなく、「自分たちの地域は自分たちで守る」ということを意味します。

賞味期限切れのペットボトルの水は（未開封）は捨てないで！

賞味期限切れのペットボトルの水（未開封）は飲めるので、
台風など非常時のために捨てないでください。
ペットボトルの水に表示されている賞味期限は、飲めなくなる期限ではありません。長期保管中に水が蒸発し、表記してある内容量を満たさなくなるため（計量法に抵触するため）、規定の内容量をきちんと満たすための期限です。

◎ペットボトルの水の正しい保管方法

①直射日光の当たる場所や高温多湿を避けて保管してください。
②匂いの強いものと一緒に保管しないでください。

再発見ウォーク
～潮風に向かって河原子旧跡を訪ねて～

10月16日（土）総勢38名で再発見ウォークが開催されました。

前日の雨も上がり秋晴れの中、東福寺～天満神社～波切不動尊～烏帽子岩～台場跡～北浜スポーツ広場のコースを巡り、参加者の方々とのおしゃべりを楽しみながら、潮風を受けて気持ちよく歩くことができました。

昔の風景の思い出話に花が咲き、旧跡の説明に耳を傾けていました。

交流センターへ帰着時、皆様よりねぎらいの言葉をいただき、スタッフ一同は嬉しさの余り疲れを忘れてしまいました。

秋の一斉清掃

10月9日（土）淡い陽ざしに爽やかな風と絶好な秋日和の中、午前8時から各町内より総勢294名の参加をいただき、秋の一斉清掃が行われました。

午前9時からは、常任委員を中心とした25名の参加により、各町内の刈草（総量約5.6トン）の回収を行いました。

また、当日参加できなかった方が、事前に大川の清掃や海岸の刈払い等にご協力をいただきました。感謝を申し上げます。このたびは、皆様のお蔭で地域の美観を保つことができました。今後ともご協力をお願い申し上げます。

大川清掃

河原子海岸

花壇整備

11月7日（日）午前8時から常任委員17名で、河原子学区コミュニティ推進会花壇に、秋・冬の花苗植替え作業を行いました。合計760本（パンジー赤190本、白210本、黄色260本、紫70本と葉ぼたん30本）の苗を森様の設計図どおりに、綺麗に植えました。

今回は女子の方2名が加わり、なごやかな雰囲気の中で作業がはかどり、1時間で終了しました。今後もたくさんの方の参加をよろしくお願いいたします。

朝日町花壇は、「湯楽の里日立店」の入口にあります。ぜひご覧になってください。

きれいな花が咲きますように!!

第2回河原子学区グラウンドゴルフ大会

10月6日（水）第2回河原子学区グラウンドゴルフ大会が、諏訪スポーツ広場で開催されました。

本大会は26名の方が参加され、コロナの感染予防対策として6組4名から5名のパーティーに振り分けを行いました。

大会が始まるとホールインワンの方が多数続出し、古橋隆氏が3回のホールインワンで優勝しました。

秋日和の中、参加者の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。

グラウンドゴルフは簡単な競技ですので、ぜひ皆様も参加してみませんか？

晴天の中、競技が開催されました

皆様、お疲れ様でした

美味しいコーヒーの淹れ方教室

11月12日（金）「TADAIMA COFFEE」の店長をされておられます神定（かんじょう）先生を招き、美味しいコーヒーの淹れ方のご教授をいただきました。

教室は好評で、満席となる15名の方々が参加されました。

神定先生に夢とモットーをお尋ねしたところ、夢は「ノーベル平和賞を取ること」、モットーは「自分の作ったもので人を喜ばせること」でした。

神定先生の説明は、丁寧でとてもわかりやすく、今までに味わったことのない美味しいコーヒーを淹れてくださいました。

その日は、コーヒーブレイクを楽しみながら至福のひと時を感じました。

Tadaima coffeeの店長・神定先生です

コーヒーブレイク・試飲の時間

おもちゃライブラリー

おもちゃライブラリーは、親子が安心しておもちゃで自由に遊んだり、親子同士の交流を広げるふれあいの場です。

第1・第3水曜日、おもちゃを広げた会場には、市内から多くの乳幼児や未就学児童の親子が遊びに来てくれます。私たちは、お子さんと楽しく遊びながら、親が「ほっと」できる息抜きの場所であってほしいと思っています。

おもちゃ遊びの他にも、保育士さんとの相談会、季節の行事、手遊び、読み聞かせ、寸劇などを予定しています。ぜひ親子で、おもちゃライブラリーへ参加してみませんか。

参加をお待ちしています。

季節の行事・ハロウィンです

河原子交流センターからのお知らせ

① 全館ＬＥＤ化となり明るい河原子交流センターになりました。シンボルの灯台も点灯しました。

② 全館Ｗｉ－Ｆｉ対応しています。ＺＯＯＭも導入しました。

③ 11月１日（月）から交流センターにおける部屋ごとの利用人数制限を解除しました。ただし、身体的距離（１ｍ以上）を確保することはこれまでと同様です。また、基本的な感染対策（検温、マスク着用、消毒、換気）や利用者の連絡先等の把握も現状と同様です。

塔は夜間点灯中です

青空の元の交流センター
緑の屋根と灯台を模した塔がシンボルです

河原子の由来(1)

その昔、河原子は浜で海水を煮つめて、塩を作っていたので「塩浜」と呼ばれていました。平安時代も終わりに近い、養和元年（１１８１）に源頼朝公の寄進により「塩浜」は、常陸国一宮である鹿島神宮の社領になりました。

その後時代が流れ、現在の東多賀町（大川の弁天橋付近）に弁財天を祀った祀堂があり、そのあたり一面が荒地だったので、「石田河原」と呼ばれていました。その当時、大川が運んだ大小の石や土砂で、広大な河原が形成されていたと推測されます。

江戸時代始めの慶長九年（１６０４）大久保村より分離の際、石田の二文字を削り「河原」の下に大久保村の分村という意味で、「子」の字を付けて「河原子」と呼ぶようになったといわれています。

（河原子町　宮田家の古文書による）

現在の弁天橋

頭の体操(1)

ある言葉を、変形した平仮名だけを用いて書いています。

絆という漢字に見えますよね。絆に関係した言葉です。

さて、何と書いているでしょうか。

平仮名　五文字です。※答えは次号です

河原子の方言(1)

① 木からツゴドレテ（落ちて）脚の骨オッチョッタ（折った）。

② ノンノサマ（仏様）へお供えしてから食べよう。

③ 突然、スピーチを指名され、アッパ・トッパ（慌てふためいた）した。

④ 川サ（に）ツッペェッテ（落ちて）死にハゴッタ（そうになった）。

⑤ ナンダデ・カンダデ（どうしようもないほど）カヅオ（鰹）のヨリ（大漁）で、船（魚師）のテイラ（人たち）大騒ぎ。